

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 8. 6

担当：学びの場クリエイター 西村



8月6日(金)

子ども広場「ホエールウォッチング」
(黒潮町こどもサポートセンター主催)
町内の中学生8名が参加しました。

まずは、NPO 砂浜美術館の大迫さんによる、土佐湾で出会える海の生き物のお話から。一番の対象であるニタリクジラは、実は60頭ほど「識別」していて、背ビレの特徴などから名前がついていることなど。絶対会いたい！という気持ちが高まります。



いよいよ2隻の漁船で出航。船長は地元の漁師さんです。さわやかな青空、しかし少々波にうねりが…(船酔いに苦戦)

それでも、

「乗っている時の波が、ジェットコースターみたい」「遊園地より楽しい！」という声も。

そして、

「最初は遠くて、でもブローは近く感じた」
(見た感想は)「でかい！！！！！」

映像や写真とは違う「本物」の出会いの実感！

帰港後、振り返りながら、

「背ビレの形は…欠けていなかったはず」
(拡大写真で確認)「ちょっと欠けている！」
「じゃあ、このクジラかもしれない！」
と個性に気づき、野生のニタリクジラに親近感も。新鮮な発見がありました。



『写真で見たような、理想通りのニタリクジラが見れた！』

校舎だけでなく、自然も学び舎。学校だけでなく、地域の中にも学びのプログラム。

“まち全体を学び舎に”のプロジェクトを進めています！



出航すると、さっそく船の先端に移動



キラキラ輝く海がキレイ



船にある特等席。見晴らし最高！



ひろ————い大海原で、クジラを探す



「あ！あっち！！ブローが見えた！！」



このクジラの呼吸、ブローが目印



特別に、操縦席体験☆



海から眺める砂浜もキレイ